主治医名

(EI)

/LI  E	<u> </u>							
				事業所	听名			
				担当	i者			
				電	 話			
					-			
	軽度者	が福祉	用具貸与	与の例外給(	付にかかる医学的原	<b>听見について</b>		
状態にある	る可能性 っては、下	があり,福祉	:用具貸与 上用具貸与	の可否につい	外給付の対象とすべき て検討しています。  対象とすべき状態像」			
被保険者	フリガナ					被保険者番号		
	氏名				版体陕白俄芍			
	住所	〒 太田市			(TEL	)		
要介護度	要支援1 ・ 2 ・ 要介護1							
		 具貸与の例	  外給付の	)対象とすべき	 伏態像」の該当箇所に☑			
該当欄 (☑)		福祉用具貸与の例外給付の対象とすべき状態像						
	i	疾病その他の原因により、状態が変動しやすく、日によって又は時間帯によって、頻繁に告示で定める福祉用具が必要な状態に該当すると判断できる者(例:パーキンソン病で、治療薬によるON・OFF現象)						
	ïi	疾病その他の原因により、状態が急速に悪化し、短期間のうちに告示で定める福祉用具が必要な状態に該当することが確実に見込まれる者(例:がん末期の急速な状態悪化)						
	iii	疾病その他の原因により、身体への重大な危険性又は症状の重篤化の回避等医学的判断から告示で 定める福祉用具が必要な状態に該当すると判断できる者(例:ぜんそく発作等による呼吸不全、心疾患 による心不全、嚥下障害による誤嚥性肺炎の回避)						
原因と お願いいた		名及び状態	美により引き	き起こされてい	る症状・必要となる福祉	用具名の記入を		
		疾患名						
福祉用具貸与が必 要な理由(医学的 な所見)								
			_					
確認をおり福祉								